

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスノーサイド(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童の発達段階に応じた個別支援が行えている点	個別支援計画に基づき、日々の関わりの中で小さな変化も職員間で共有し、支援内容の見直しや統一を図っている	定期的なケース会議や研修を実施し、職員の専門性向上を図ることで、より質の高い個別支援の提供に努める
2	保護者との日常的なコミュニケーションが取れている点	送迎時や連絡帳を活用し、日々の様子や成長を丁寧に伝えることを心掛けている	面談機会の充実や情報発信方法の工夫(おたより・掲示等)により、より分かりやすい情報共有の方法について検討していく

3	安心・安全に配慮した療育環境の整備	環境設定や危険箇所の確認を日常的に点検を行い、事故防止に努めている	定期的な点検や職員研修を継続し、安全管理体制のさらなる強化を図る
---	-------------------	-----------------------------------	----------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や活動の意図が保護者に十分伝わりきっていない点	日々の伝達が口頭中心となり、活動の目的やねらいまで十分に説明できていない可能性がある 職員間の説明内容が異なることで、意図まで伝わりきらない可能性がある	活動のねらいや支援内容を連絡帳や掲示等で見える化し、保護者に分かりやすく伝える工夫を行う 一方通行でなく、双方向のやりかたを意識する
2	活動内容のバリエーションや見通しの提示に課題がある点	日々の活動が個別対応中心となり、全体としての計画性や見える化が不十分となっている 活動のパターン化や活動計画が弱い	年間・月間の活動計画の整理や掲示等を行い、活動内容の充実および活動意図の見える化について検討する
3	職員間の情報共有において一部認識の差が生じる可能性がある点	勤務形態や時間帯の違いにより、情報共有（口頭・日報・記録等）の機会手段、方法にばらつきがある 記録内容の記載の一定化が固定されていない	朝礼・終礼や記録の統一を徹底するとともに、ICTの活用等も含めた情報共有方法の強化について検討していく